

前置詞で伝える (基礎)

年 組 番 名前 _____

この紙のゴール: 待ち合わせの場所と時間を、イメージに合う前置詞で伝えられる

モデル モデル (先輩の書いた例。声に出して1回読もう)

Let's meet at the school gate on Saturday morning.

土曜の朝、校門で待ち合わせよう。

If it rains, I will look for you in the library instead.

雨なら、代わりに図書館でさがすね。

型で書く 型で書く— _____ だけ自分のことばに 思考・判断・表現

ことば例 ((1): the school gate / the station / the bookstore + Saturday / Sunday (2): the library / the gym (3): my dog / my little sister / my bag)。気づき: (1)のat は点、on は日、(2)のin は中—同じ「で」でも英語では見え方で分かります。(3)は動詞と前置詞をセットで覚える群動詞です。

(1) Let's meet at _____ on _____. 待ち合わせの場所と曜日

(2) If it rains, let's meet in _____. 雨のときの場所 (建物の中)

(3) Could you look after _____ for me? だれかに頼みたいこと

ペアで話す ペアで話す—待ち合わせの相談

交代で提案→相手は Sounds good. か How about ...? で返す。場所と時間を必ず1回ずつ言うこと。気づき: 場所は at か in、時間は on か at —迷ったら「点? 中? 日?」と自分に聞くと決まります。

(1) Let's meet at the station at ten on Sunday. Is that OK?

場所・時刻・曜日を1文で

(2) Sounds good. / How about meeting in the shopping mall instead?

受ける・言いかえる

あいづち・返しの型: Sounds good. That works for me. Can we make it later? See you then.

前置詞で伝える (基礎) | 自分の番

年 組 番 名前 _____

書く 3文つなげて「週末の約束」 思考・判断・表現

上の「型で書く」の3文を、順番にそのまま書きうつしてつなげる—それだけで短いメッセージになる。最後に、相手にひとこと: See you at _____ on _____.

評価 先生はここを見ます (加点式)

場所と時の前置詞が、イメージに合っている	+5点
_____に自分のことが入っている	+3点
最後の1文に場所と時の前置詞が入っている	+2点

※減点式にしない—書いた量と伝わった中身を評価します。細かい誤りは返却後の書き直して扱います。

振り返り ペアで読み合って、相手の文でいちばん良かった1文をメモ